

# S-1療法

	day1	8	15	29	36	43
S-1 80mg/m <sup>2</sup> 1日2回経口内服 <u>28日内服14日休薬</u>	夕より			朝まで		

必ず食後内服

体表面積:

1.25m <sup>2</sup> 未満	40mg/回
1.25m <sup>2</sup> 以上1.5m <sup>2</sup> 未満	50mg/回
1.5m <sup>2</sup> 以上	60mg/回

※推定Ccrにより減量基準あり

30mL/min以下は投与不可

30~60mL/minは1段階減量

(化学療法患者情報連絡表に記載あり)

## • 副作用

骨髄抑制、食欲不振、下痢、口内炎、発疹、色素沈着、流涙、倦怠感

※上記症状により減量等の対応が必要と考えられた場合

- ・1段階減量
- ・スケジュール変更→14日内服7日休薬等



# S-1による眼の副作用

角膜炎・角膜潰瘍・角膜びらんの角膜障害が発現し、視力低下をきたした症例の報告がある。

- ・ 発現機序

核酸合成阻害に基づく角膜および結膜上皮の障害と、これに伴う2次的な炎症反応（涙管の狭窄あるいは閉塞とそれに伴う流涙の誘発）の結果であると考えられている。

- ・ 症状

流涙、視力低下、かすみ目、眼痛、眼乾燥



# S-1による眼の副作用

- ・ 治療

①人口涙液の点眼(薬剤のwash outを目的として防腐剤が含まれていない人口涙液の点眼)→保険薬局にて購入することあり

②休薬し眼科コンサルト→涙点切開、シリコンチューブ留置

- ・ 転機

眼科治療、休薬にて回復・軽快する。